建球会報告

初参加の方三名と、十年ぶり（？）にクラブを握ったという於東代表幹事にも参加頂き二十名のコンペとなりました。

建球会のコンペで雨というのは、あまり記憶にありませんが、どうも代表幹事が雨男だったようです。

そしてコンディションが悪い中、見事優勝（V2）したのは、高橋英二さんでした。

優勝の弁でV3をしたいと言われておられましたが、みんなで阻止しましょう。

また、表彰式では、全員に豪華賞品がいきわたり、中でも十一月十一日の当日賞十一位の豪華賞品をゲットしたのは、強運といえばこの人、宮崎先生でした。そうして表彰式も終わり歓談の後、散会となりました。

また、来年度は幹事が交代します。二年間皆様方のご協力を頂き有難うございました。

建球会幹事　料治敏宏
金辺幹治
長島　誠

上位成績は次の通り（O・I・G・H・Nの順、敬称略）

優勝　高橋英二（ビィーティーエス）43.46＝89－19＝70
準優勝　藤原光啓（日本ルーフ産業）　42.46＝88－15＝73
三位　竹井　寿（タケイ）　44.48＝92－18＝74
四位　寺道秀和（koui i）　48.48＝96－21.6＝74.4
五位　林　康幸（興洋インテリア）　45.44＝89－14＝75

紙風船

めっきりと寒さが増して来ました。懐も寒いです。（余計ですいません）

風邪は万病の基といいます。子供の頃は、はしか、おたふく風邪等で休んだ覚えが有ります。（ズル休みもあったかな～？）

今は新型インフルエンザが猛威を振るっています。かからないのが一番ですが鳥インフルエンザ・O157等の病気が次々に話題に出ます。ワクチンに対して耐性を持った変種の「いたちごっこ」の様に思われます。人間本来が持っている自己防御の免疫力を高める効果が有るのが「笑う事」だそうです。なるべく笑う事をすれば未来は明るい！？（^_^）「笑う門には福来たる」と願いたいですね。

株式会社ビィーティーエス　山下隆実

OKCから世界王者が！

日本オスモ㈱の田中良平君と言えば、誠実な人柄と何でも買って出る男気、それに関西気質あふれるユーモアの持ち主だ。

その彼が今年七月に行われた「第三回エアディナー世界大会」で優勝、世界王者となったのはご存じだろうか。奥ゆかしい彼の性格では自分から言い出せないと思うのでここで大きく発表し彼の功績を讃えたい。

エアディナーとは何もない空間にあたかもご馳走があるかのように表現し、それを食べる様を表したエンターテイメントである。彼の優勝芸である「ピザを食べる男」は現在の飽食時代に食をいかに感謝して、喜んで、楽しむかを最高に表現したとして参加者に感動を与えた一発芸である。

エアディナー世界大会優勝の日本オスモ㈱・田中良平君（独身）

【編集後記】思い返せば総務・広報委員会に所属してから三年経ちました。右も左も判らない状態でOKCに入会し、周りは諸先輩方ばかりなので怯えたウサギの様にドキドキしていたのですが、いつのまにかウサギを追い詰めたトラの様に右に左にと暴れ回っております。これも偏に器用貧乏のなせる技だと自負しております。毎回FILE誌を編纂させていただいていますが、段々と誌面が狭くなり、あれも入れたいこれも入れたいと言った委員会での意見に作る側としては嬉しいやら恐ろしいやら。それでも会員相互の情報交換の役目として節目ごとに配られるこのFILE誌を作ることに誇りを持って、**締め切りを過ぎても届かない原稿を待ちながら**、楽しく作っています。もちろん**睡眠時間を削って**。

しかしながら正会員と賛助会員を繋ぐ大切な役割です。気を抜くことなく楽しい誌面作りを志して参りたいと思いますのでご愛読のほど宜しくお願い申し上げます。（M）

FILE編集部
編集長　大丸和子
編集委員　大塚正次
〃　土田利行
DTP　松下泰之

新担当（賛助会）

㈱サンゲツ岡山店
担当者　作本明彦
三協立山アルミ㈱
担当者　岩城匠太郎
YKKAP㈱岡山支店
担当者　佐々木孝一郎

※誌面が余ったので間伐例会に饗された千屋牛をご堪能ください。脂が乗ってとても美味しかったです。

岡山建築設計クラブ

FILE!
OKAYAMA KENCHIKU SEKKEI CLUB

第一六回　ワンデーエクササイズ報告

2009 納涼例会より

平成二一年十一月十四日（土）水島サロンにて第十六回ワンデーエクササイズが開催されました。

九校十六チームによるプレゼンテーションによる公開審査で、審査委員長は昨年に続き引き受けていただいた小川広次氏です。小川氏は谷口吉生事務所で数多くの美術館を担当され、丸亀の猪熊弦一郎美術館もそのひとつになります。二年目とあって今年は小川氏の方から積極的な提案をたくさんいただきました。課題地は天満屋倉敷店跡地、課題は「人が集まる」で課題敷地を利用して、街を活性化させる提案を求めました。本年は審査委員長のため、審査基準を明確にするため、審査委員長よりいただいた「提出物に表現すべきポイント」を明記しました。

◆最優秀賞にRISEN

ただいた小川氏の方から積極的な提案をたくさんいただきました。課題地は天満屋倉敷店跡地、課題は「人が集まる」で課題敷地を利用して、街を活性化させる提案を求めました。本年は審査委員長のため、審査基準を明確にするため、審査委員長よりいただいた「提出物に表現すべきポイント」を明記しました。

①都市的な視点から敷地を捉える（問題意識の提示）
②オリジナリティ溢れる提案
③プレゼンテーション事前の「課題の説明」と審査委員長の審査視点のずれを解消すべくひとつの手法となったと思われます。

学生賞もこの三ポイントについて採点する方法を採用しました。この投票用紙に意見が書けるコメント欄を設けていたのですが、各校とも非常に真剣に発表チームにアドバイスする内容が書かれてあり、充実した学生賞となりました。

今回のワンデーエクササイズの反省を委員会そして学校からいただいております。十六年も継続すると事業も大きくなります。課題が大きすぎて学生、先生の負担が大きすぎる、コンペ方式は学生にとって良くないのではないか、今以上に参加チームが増えた場合にどう対応するか等、検討事項はたくさんあります。これも学校と一緒に取り組む「まちづくり、ひとづくり」事業として大切に育てていきたいと思います。

事業委員長　柴田晴夫

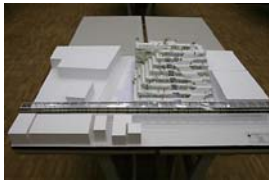
◆Aチーム◆

【審査結果】

最優秀賞　：岡山理科大学専門学校　RISEN・A
優秀賞　：岡山理科大学専門学校　RISEN・B
優秀賞　：中国デザイン専門学校　C-DEC・A
奨励賞　：川崎医療福祉大学・A
奨励賞　：岡山科学技術専門学校・A
学会奨励賞：川崎医療福祉大学・B
学生賞　：川崎医療福祉大学・A

優秀賞・RISEN・B

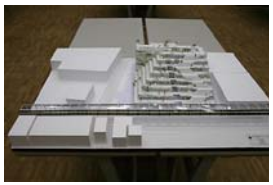
優秀賞・C-DEC・A



奨励賞・川崎医療福祉大学A

奨励賞・岡山科学技術専門学校・A

学会奨励賞・川崎医療福祉大学・B



学生賞・川崎医療福祉大学・A

右・最優秀賞受賞作品
上・いまだ実感のわかない表情で表彰式に臨む岡山理科大学専門学校・RISEN・Aチームの生徒たち